

受験番号	
------	--

令和7年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

高等学校 地理歴史（地理） 解答用紙 （2枚のうち1）

5	得点	
---	----	--

--

問1

(1)	自覚	/	(2)	3	/
(3)	点や円の粗密・大小で単位地域での数量を表すことによって、人口や産物などの分布を示す地図である。				/
(4)	2	/			

--

問2

(1)	a	ユカタン	半島	/	b	コロンビア	共和国	/
	c	チチカカ	湖	/				
(2)	偏西風がアンデス山脈の太平洋側に降雨をもたらす一方で、アンデス山脈の東側は風下側となり、年間を通じて少雨となる。							/
(3)	アタカマ砂漠は亜熱帯高圧帯に位置しており、上昇気流が発生しにくく、さらに沿岸のペルー海流（フンボルト海流）の湧昇現象によって、地表部が低温、上層部が比較的高温となり、一層上昇気流が起こりにくくなるため、雲が形成されにくくなるのが成因である。							/
(4)	(i)	264	mm	/	(ii)	BS		/
	(iii)	4		/				
(5)	バイオエタノールの原料であるサトウキビ等は生育する間に二酸化炭素を吸収するため、自動車等で利用し二酸化炭素を排出しても、結果として吸収量と排出量が均衡するカーボンニュートラルに近い状態となる。一方で、バイオエタノールの原料は食料と競合するため、食料価格の高騰や飢餓等の食料問題へとつながる懸念がある。							/

--

--

--

受験番号	
------	--

令和7年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

高等学校 地理歴史（地理） 解答用紙 （2枚のうち2）

5 (続き)

(6)	4	/
(7)	(i)	1 /
	(ii)	<p>焼畑農業は森林を伐倒し原野を刈り払い、倒した樹木や草木などをもやしてから灰を肥料として、しばらくの間イモ類等を栽培し、数年間作付けしたのち、肥料分がなくなると畑を放棄し、他の場所に移転する農法である。ほかの土地を焼畑耕作している間に放棄した土地の植生が回復すると再び焼畑として利用する持続可能な農法である。</p> <p>近年、人口増加に伴い植生が回復する前に火入れを行うようになった結果、無秩序な農地拡大が行われ、循環的な利用の継続が困難となっている。</p>

問3

(1)	(i)	河川の侵食作用により形成されたV字谷をもつ急峻な山脈に、海水面の上昇または土地の沈降により海水が流入し形成された。	/
	(ii)	1 /	
	(iii)	外海の高波や台風による風や波、高潮等をリアス海岸の特徴である複雑で入り組んだ岬や小さな島々が防ぐため。	/
(2)	(i)	鉄道は勾配に弱く、急勾配を回避する必要があることを踏まえ、勾配を直線で登らせず、線路を複数回屈折させているため。	/
	(ii)	210 % /	(iii) 記念碑 /
(3)	(i)	サトウキビ /	(ii) 2 /
	(iii)	宮古島の地層は石灰岩からなっており、水はけがよいため。	/